

令和5年度苅田町SDGs推進プロジェクト実施状況報告

	事業名【担当課】	事業概要	進捗	報告事項
普及啓発	① 苅田町ホームページリニューアル【企画課】	苅田町ホームページをアクセシビリティに配慮したサイトにリニューアルする。あわせて、「やさしい日本語」による表記やスマートフォン対応を導入し、利便性を向上する。	実施済	令和6年3月より、アクセシビリティに配慮した新サイトを運用開始した。
	② SDGs推進月間【企画課】	重点的に取組を推進する期間を「苅田町SDGs推進月間」に定め、効率的に取組を実施することで、より効果的なSDGsの推進を図る。 本プロジェクトの各事業のうち、推進月間期間中に実施する予定のものについては、⑱図書館でのブックリサイクルの実施、②苅田町SDGsシンポジウム、③苅田町SDGs子ども議会の3施策。	実施済	苅田町SDGsシンポジウムは10月に実施した。苅田町SDGs子ども議会は、学校との調整の結果、2月に実施した。図書館でのブックリサイクルは予定通り11月に実施した。
	③ 苅田町SDGsシンポジウム開催【企画課】	SDGsの取組を町内外に広く知ってもらい、個人が自分事として認識してもらう契機とするため、苅田町SDGsシンポジウムを開催し、SDGs推進の意識醸成を図る。	実施済	SDGs推進の取組として10月に、白石海岸清掃活動とSDGsシンポジウムを開催。延べ約550名が参加し、持続可能な社会の実現に向け、意識醸成を図った。
	④ 苅田町SDGs子ども議会開催【企画課】	未来を担う子どもたちが、SDGsの取組を議場で発表し、SDGsの視点から苅田町の未来について町長へ提言することにより、社会への関心を高め、SDGs人材の育成に繋げる。	実施済	SDGs推進の取組として2月に、苅田町SDGs子ども議会を開催。子ども議員32名、傍聴者約150名が参加し、SDGs人材の育成を図った。
	⑤ 町独自のSDGsロゴマークピンバッジ製作【企画課】	町独自のSDGsロゴマークを使った啓発用ピンバッジを制作し、町内外に対し本町のSDGsの取組をアピールするとともに、職員並びに町民へのSDGsに対する意識醸成を図る。	実施済	SDGsの普及・促進を図るため、10月に町独自のSDGsロゴマークを使った啓発用ピンバッジを配付した。
	⑥ 苅田町ワンヘルス推進宣言【追加事業】 【企画課】	人と動物の健康・環境の健全性を次世代に継承するため、SDGsとの関連のある福岡県ワンヘルス推進基本条例に基づきワンヘルス宣言を実施する。	実施済	12月1日にみやこ町と合同でワンヘルス推進宣言式を実施し、ワンヘルスの周知・啓発パネルを地産地消フェア、役場ロビーに掲示した。
	⑦ 図書館での特設コーナー設置【生涯学習課】	利用者へのSDGsの普及促進を図るため、SDGsの17分類で特別選書し、特設コーナー等において別置する。さらに、アイコンに合わせた本の帯を作り、対象資料に巻いて陳列したり、ロゴの形のしおりを配布する。	順調	図書館にSDGsの普及促進を図るための特設コーナーを設置している。
	⑧ ロゴマークしおり配布【生涯学習課】	利用者へのSDGsの普及促進を図るため、返却期限しおりにSDGsロゴマーク等をデザインして配布する。	実施済	図書館のリニューアル前まで、ロゴマークのしおりを配布していたが、リニューアル後は、図書館をデジタル化し、自動貸出返却機を導入したことで、しおりを使用しなくなったため、9月で事業終了した。

事業名【担当課】		事業概要	進捗	報告事項
人権・多文化共生	⑨ 子ども家庭総合支援【子育て・健康課】	地域のすべての子ども・家庭の相談に対応する機関を設置し、実情の把握、情報提供、相談等への対応など適切な支援を実施するほか、要支援児童及び要保護児童等並びに特定妊婦等への支援業務を行う。	順調	地域のすべての子ども・家庭の相談に対応する機関として、バンジープラザに子ども家庭相談担当を設置した。要支援児童及び要保護児童等並びに特定妊婦等への支援業務については継続して実施する。
	⑩ 日本語学習支援【住民課(人権男女共同参画室)】	外国から来られた方が孤立せず、安全・安心して暮らせる制度を構築し、外国人が地域の一員として共生するため、日本語学習を通じた支援を行う。	順調	苅田町在住の外国人を対象に、苅田町日本語教室を開講し、令和4年度より毎週授業を行っている。また7月に新たに外国人就労者向けに、日本語能力試験N3レベルのコミュニケーション能力の習得を目指すコースを実施した。引き続き、日本語教室を通じた支援を行う。
	⑪ 外国にルーツのある子ども、若者、保護者への相談の充実【住民課(人権男女共同参画室)】	教育機関と連携し、日本の学校生活や教育制度に馴染みがない方に向けた相談の場づくりを進める。	順調	8月に交流会を実施し、5人の子どもたちと西日本工業大学の留学生、日本語教室の受講者とパートナーの方たちが参加した。11月に新入学児童保護者説明会を学校教育課と共同で実施し、3人の子どもと保護者が参加した。引き続き、相談の場の拡充を図る。
	⑫ 女性活躍・ワークライフバランス企業表彰【住民課(人権男女共同参画室)】	町内の女性活躍やワークライフバランスの実現に積極的に取り組んでいる企業を表彰し、取組内容を広報やホームページ等で紹介することでジェンダー平等の推進を図る。	順調	6月に第1回女性の活躍推進事業者表彰を実施し、「日産自動車健康保険組合九州地区健康推進センター」を表彰し、取組を紹介することで、ジェンダー平等への推進を図った。
	⑬ パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度【住民課(人権男女共同参画室)】	性の多様性への理解が進み、お互いに認め合い、町民一人ひとりがかけがえのない個人として尊重され、性的マイノリティの方たちが大切なパートナー・家族として安心して生活していくための取組として、令和5年4月1日より導入する。	順調	4月よりパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を運用開始し、5月に町長室にて第1号のパートナーシップ宣誓受領証、受領カードの発行を行い、性的マイノリティの方たちが安心して生活していくための取組を進めた。
	⑭ やさしい日本語での情報発信【住民課(人権男女共同参画室)】	「苅田町外国人インフォメーションフェイスブックページ」にて、行政情報、災害情報等をやさしい日本語で発信する。	順調	災害や外国人住民向けの情報発信をfacebook、ホームページにて随時行っている。また、町職員向けのやさしい日本語研修は3月実施予定で、情報発信はやさしい日本語で行うよう意識啓発を行う。
	⑮ 外国人向け生活オリエンテーション【住民課(人権男女共同参画室)】	苅田町に転入して間もない外国籍住民に向けて、ゴミの分別等、地域生活のルールに関する情報を提供するため、地元企業や自治会と連携し、生活オリエンテーションを実施する。	遅れ	区長連合会との調整が難航したため、今年度は広報等での募集を行ってない。企業や学校等から要請があれば講座を随時実施する。
	⑯ 学校の多言語化対応【学校教育課】	町内の小・中学校に日本語指導を必要とする児童生徒が在籍しているため、日本語指導教員を1名増員し、日本語の指導を行う。また、各学校に双方向音声翻訳機を配置し、教員と児童生徒・保護者との意思疎通に役立て、児童生徒が安心して学校生活を送れるよう支援する。	順調	日本語指導教員を3名、双方向音声翻訳機を5台配置し、教員と児童生徒・保護者との意思疎通の充実を図った。また、やさしい日本語を使用した保護者向けパンフレットを作成し、保護者・児童生徒が安心して学校生活を送れるよう継続して支援する。
	⑰ 小学校の標準服の見直し検討【学校教育課】	小学校の標準服の選択制の拡大などの見直し検討を行い、協議の整った学校から順次実施する。	順調	小学校の標準服の選択制を令和6年度末までに導入についての周知を行い、性の多様性への理解促進を図る。
	⑱ アクセシブルライブラリー【生涯学習課】	視覚障害者手帳をお持ちの方を対象に、電子書籍を音声読み上げで提供するサブスクリプションサービスを導入する。	順調	運用開始済。今後関係団体に制度を説明し、視覚障がい者の方へ周知し、アクセシブルライブラリーの利用促進を図る。
⑲ 多言語案内版の設置【総務課】	当町に設置している街区表示板をアルファベットを併記したものに交換する。	順調	12月から街区表示板設置開始し、令和6年3月に設置完了予定である。	

	事業名【担当課】		事業概要	進捗	報告事項
自然環境	⑳	次世代自動車購入費補助【環境課】	カーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガスの削減を積極的に支援するため、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車を購入する町民及び町内事業者に対し、補助金を交付する。	順調	交付決定件数は60件、補助金交付額は：9,088,000円(4～12月未までの累計)で、補助金を交付した次世代自動車を約1年間使用した場合におけるCO2排出削減量(走行距離報告実績に基づく推計値)は31.83 t(12月未までに報告があった33台分)であり、カーボンニュートラルの実現に向け、温室効果ガスの削減を図る。
	㉑	石鹼系消火剤の導入【消防本部】	現在使用している合成界面活性剤の消火剤は植物性に対し毒性が強く、環境に悪影響をもたらしている。そこで環境性能に優しい石鹼系消火剤を導入し、地球環境の保全に貢献する。	順調	在庫の消火剤がなくなり次第、石鹼系消火剤を導入予定。
	㉒	エシカル消費普及・啓発活動【総務課(危機管理室)】	エシカル消費の普及促進を図るため、荻田町消費生活相談員による出前講座を実施する。また、広報かんだを活用した啓発を行う。	順調	消費生活相談員による出前講座を令和6年2月末時点で3回実施。今後も要望があれば随時実施する。広報かんだ9月25日号でエシカル消費に関する記事を掲載した。
	㉓	安全で安心できる公園・緑地づくり(グリーンプロジェクト)【都市計画課・生涯学習課】	第5次総合計画に掲げられた「持続可能な市街地の形成」の施策の基本方針に基づき、老朽化している公園の施設や植栽の更新、維持管理を行う。	順調	12月より殿川緑地公園の改修を行っており、向山公園と大熊公園は今後改修予定である。石塚山古墳の保全について、当初計画通り実施している。
	㉔	図書館でのブックリサイクル【生涯学習課】	11月の読書週間まつりに合わせて、図書館で活躍を終えた本や雑誌をご希望の方にお譲りする。	順調	7月に子供対象のブックリサイクル、11月に図書館のリニューアルイベントに伴い、ブックリサイクルを実施し、リサイクルへの意識啓発を行った。
	㉕	放課後子どもひろば・放課後児童クラブでのSDGs学習会【生涯学習課】	町内児童へのSDGsの普及促進のため、放課後子どもひろばや放課後児童クラブに入所している児童を対象に、環境講座等のSDGsの目標に関連した講座を開催する。	順調	5月と12月に荻田小学校放課後子どもひろばにて「海岸の環境保全について」と題した環境学習を実施し、SDGsへの普及促進を行った。
	㉖	不要品リユースの推進【追加事業】 【企画課】	フリマアプリ(ジモティー)を利用し、庁舎内不要品の再利用、ごみの減量化を推進する。	順調	ジモティーとリユースに関する協定を締結し、3月中に不要品の再利用開始。